

# インプラントバカ受賞

日時：平成30年12月1日(土)  
場所：松風(特別研修会)、瓢庵(忘年会)



小倉 隆一  
(栃木県)



水口 稔之  
(東京都)



私がインプラントと出会ったのは、私が大学6年生(1984年)の夏休みの時でした。同級生の井汲 憲治先生(前会長)の実家で、井汲 勝行先生(憲治先生のお父様)の施術するブレード・インプラント埋入手術を見学させてもらい、カルチャーショックを受けたのです。というのも当時、私の大学では、補綴系の某教授が「インプラントをしている歯科医師は問題だ」と授業で公言していたからです。その翌年の1985年、私が医局に在籍しているときに、日本歯科インプラント学会と日本デンタルインプラント研究学会の共催学会が仙台市で開催され、その時に井汲 勝行先生の勧めで学会に入会しました。その後1991年にCISJに入会させていただき、1992年には松本 常男先生が大会長をされた関東・甲信越支部学術大会の懇親会が伊香保温泉で行われた時には、いろいろ勉強させていただきました(笑)。

このようないきさつで現在に至るわけですが、これからもインプラントバカを続けていくのだろうと考えておりますので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

小倉 隆一



この度、我が日本インプラント臨床研究会の名誉ある「インプラント バカ」を受賞いたしました!

「インプラント バカ認定証」には、「あなたは、家庭家族も顧みず、雨の日も風の日もただひたすらインプラントを突き詰めました。あなたの姿勢は当会の誇りと模範です。」と書かれておりました。

このお言葉は、私にとって最上の誉め言葉です!!  
あまりにも嬉しくて2次会の会場から、墨田川に飛び込もうと思いましたが、「もっとインプラントに精進してインプラント大バカにならない!」という天からの言葉が聞こえてきて、飛び込むことは思いとどまりました。

今後、もっと英語を勉強して「implant Baca」を世界へ発信していけるインプラントロジストになれるように頑張りたいと思います。

今後ともよろしく願い致します。

水口 稔之